

2014年度診療報酬

現場無視のマイナス改定

3月27日 明石でも新点数研究会

4月1日からの診療報酬 介護の実態を無視した「入
が、3月5日厚生労働大臣 院から在宅」「医療から介
により告示・通知され、実 護」への誘導を示す内容で
質マイナス改定で、医療費 あり、会員からは問い合わせ
抑制ありきの内容であるこ とが明らかになった。明石
支部では、3月27日に医科・ 歯科ともに会員医療機関を
対象にした診療報酬改定研 究会を開催する。改定内容
の解説を行うとともに、内 容に抗議し、診療報酬の抜
本引き上げ・患者窓口負担 引き下げを求める。

近畿厚生局が説明会 「集団指導」名で

「同一建物居住者」 引下げに疑義殺到

今次改定は、消費税増税 対応分の1・36%を除く と、実質マイナス改定(▲ 1・26%)である。医療・

近畿厚生局は前回に引き 続き、県下の全医療機関を 対象に、診療報酬改定の説 明会を開催する(医科3月 19・25・26・27・28日、歯 科20・21・30日、薬科20・ 21・30日)。本説明会は、 指導大綱・実施要領に基づ き「集団指導」の名称で行 われるが、内容は改定の説 明であり、欠席によるペナ ルティなどはない。
協会は近畿厚生局に対 して、「集団指導」という 名称を使用せず、他の「指 導」と誤解を生じないよう 配慮を求めている。

兵庫県保険医協会 政策研究会 昭和史にみる医療の変遷

日時 4月12日(土)16時~18時30分

会場 兵庫県保険医協会会議室

講師 川島 龍一 先生

(兵庫県医師会 会長)



川島 龍一(かわしま りゅういち)先生
ご略歴

昭和18年生まれ。神戸大学医学部卒。甲南病院外科医長を経て、昭和58年神戸市東灘区で川島クリニックを開業。平成10年から東灘区医師会長、平成14年から神戸市医師会長、平成22年から兵庫県医師会長。

近年、日本ではアメリカ型の市場経済至上主義で社会のすべてを動かそうとする政府の意向が顕著になっています。医療分野でも、これまで続けられてきた医国費政策だけでなく、TPPや「特区」制度による規制緩和で医療の営利産業化が強く推進されようとしています。

そこで、今回は兵庫県医師会の川島龍一 会長をお招きし、いかに昭和時代の先達の方々が血と汗を振り絞り国民皆保険制度を完成させたのか、国民皆保険制度を国の宝として守り抜くために何が必要なのか、当時の貴重な記録映像を数多く織り交ぜながら、お話しいただきます。

貴重な機会ですので、ぜひ多くの先生がたのご参加をお待ちしております。

兵庫県保険医協会 政策研究会「昭和史にみる医療の変遷」(4/12開催)

準備のため、参加のご都合をFAX078-393-1802 までご連絡ください。

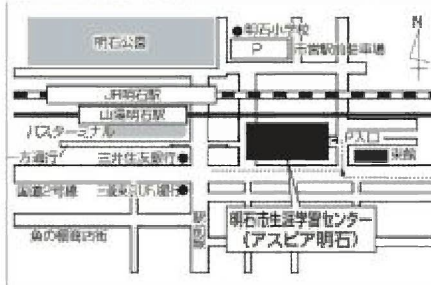
□参加する

地区 _____ 医療機関名 _____

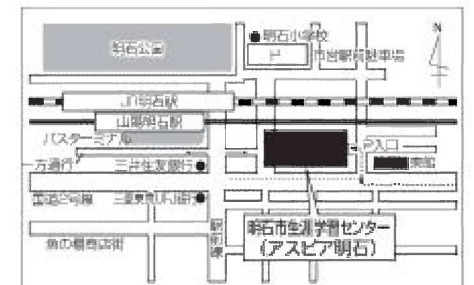
氏名 _____

この件に関するお問い合わせは、協会事務局078-393-1807(担当:平田)まで

歯科会場 3/27(木) 19時~
明石市生涯学習センター 7階学習室1
(アスピア明石北館) ☎078-918-5600



医科会場 3/27(木) 14時~
明石市生涯学習センター 9階子午線ホール
(アスピア明石) ☎078-918-5600



兵 庫 県 協 会
保 險 医 協 会



N o. 265
2014-3-25
投稿歓迎!

兵庫県保険医協会明石支部
支部長 吉岡 巖
神戸市中央区海岸通二丁目二番三二号
神戸フコク生命海岸通ビル五階
TEL 〇七八一三九三一八〇(代)
FAX 〇七八一三九三一八〇二

会員懇談会「失敗しない採用のポイントと退職時のトラブル解決策」

明日から役立つ 雇用管理のポイントが学べた



熱心に聞き入る参加者たち。講義のあとは、活発な質疑も

支部は3月9日、西明石ホテルキャッスルプラザで「失敗しない採用のポイントと退職時のトラブル解決策」をテーマに、桂芳務社 会保険総合事務所所長の桂

好志郎氏を講師に招き会員懇談会を開催。19人の医師、歯科医師らが参加した。桂氏は自身が監修を務めた月刊保団連臨時増刊号「経営対策シリーズ

2013 医院経営と雇用管理―確定申告・医療経営改善のために―」をテキストに講演した。

氏は、「いい仕事をするためには、安定した雇用環境が不可欠だ」として、具

体的に「勤続年数の平均ではなく、退職の時期の分布を調べると改善すべき点が見えてくる」と述べた。そして、退職の時期ごとにそれぞれ対策を述べた。「面接直後に採用を辞退する人が多い場合、面接の仕方の問題や職員の勤務態度などに問題がある場合が多い。3カ月以内の退職者が多い場合は、労働条件通知書や採用時の書類を渡していない、試用期間が終わってからしか、雇用保険や社会保険の手続きをしていない、仕事の指示があいまいで

います」などと訴えた。辻先生は医師の立場から「風疹自体は大した病気ではありませんが、怖いのは妊娠初期の妊婦さんがかかると、赤ちゃんに高い頻度で、心臓病、目の病気、難聴などという症状が起こるところです。治療が難しいので、必ずワクチン接種を」と解説した。この日は、西村氏の活動を追っているサンテレビが、ラジオ放送収録の模様を取材した。この模様は平日21時30分から放送されている報道番組「NEWS PORT」で、3月26日に放送される予定。「医療知ろう!」は、ラジオ関西 AM558kHz、但馬放送局1395kHzで、毎週木曜19時40分〜20時頃放送中。3月27日まで。過去の放送はインターネットで視聴できる。

「風疹をなくそう」 協会提供ラジオ関西番組「医療知ろう!」



辻幹事(右3人目)と風疹をなくそうの会(右から2人)ら

協会が昨年10月からスポンサーとなっているラジオ関西の番組「寺谷一紀と!い・しよく・じゅう」の「医療知ろう!」コーナーに2月13日は「風疹をなくそう」とのテーマで辻一城理事と「風疹をなくそうの会」Hand in Hand」共同代表の西村麻依子氏、大畑茂子氏が出演。

先天性風疹症候群の子どもを持つ母として、西村氏と大畑氏が「風疹はなくせる疾患です。みなさんの意識が高まり、ワクチン接種で風疹をなくせたらと思

います」などと訴えた。辻先生は医師の立場から「風疹自体は大した病気ではありませんが、怖いのは妊娠初期の妊婦さんがかかると、赤ちゃんに高い頻度で、心臓病、目の病気、難聴などという症状が起こるところです。治療が難しいので、必ずワクチン接種を」と解説した。この日は、西村氏の活動を追っているサンテレビが、ラジオ放送収録の模様を取材した。この模様は平日21時30分から放送されている報道番組「NEWS PORT」で、3月26日に放送される予定。「医療知ろう!」は、ラジオ関西 AM558kHz、但馬放送局1395kHzで、毎

・保育園で保育士をしています。風疹の予防接種のこと大変勉強になりました。西宮市でも予防接種の助成をしてくれています。私も受けましたが、もっとたくさんの方が受けられるようになってほしいですね。(西宮市 女性 31歳)

明石支部では、企画を募集しています。文化行事から臨床研究会まで、お気軽に事務局までご連絡ください。